

保護者会で使える？エクササイズ「伝達ゲーム」

(ねらい)

人の言葉を注意深く聞き、正確に伝えることの難しさや、うわさ話や誤解がいともたやすく発生してしまうか体験する。そして、日頃の会話の在り方に関心を向ける。

(ルール)

伝える人・伝えられる人はお互いにだけ聞こえるような声で言うこと。できれば両手を使い相手の耳元にささやいた方がよい。

(手順)

1. 5～6人ほどのグループに分かれ、列(または円)になる。
2. 一番はじめの人を決める。
3. 一番はじめの人にだけ伝達文を見せるので、それを後ろに(または右回りで)伝えていく。
伝達文はグループごとに違うものにする。
4. 伝えられる人は、言葉を発せず、しっかり聞き、次の人に伝える。
5. 最後の方は、前に出て伝達文を白板に書く。
6. 正解を聞く。
7. 次に、最後の方にだけ別の伝達文を見せるので、それを前に(または左回りで)伝えていく。
伝達文はグループごとに違うものにする(最初AのチームはDを、BのチームはCを)。
8. 伝えられる人は、今後は聞き返したり、念を押したりしながら聞く。
9. 最後の方が前に出て伝達文を白板に書く。
10. 正解を聞き、感じたことをグループで話し合う。

(参考文献：國分康孝監、縫部義憲編著『教師と生徒の人間づくり・第3集』瀝々社、1989)

(伝達文A)

7月11日午後1時前に、大館駅の階段の右下に赤いカーネーションを目印にお集まり下さい。

(伝達文B)

1月17日午後7時過ぎ「パリロス」という喫茶店で桂氏と板東氏が「メケメケ」というレコードを聴いていた。

(伝達文C)

4月21日17時30分に大曲駅に到着する「こまち」に、松永氏が乗っていますので、迎えに行ってください。

(伝達文D)

6月8日午後7時過ぎ、「ミケーネ」というスナックで、田口氏と神谷氏が「ラ・バンバ」というアルバムを聴いていた。